

第3回 縄文時代の生活と三内丸山遺跡

1. 縄文時代の生活

- 縄文時代の人々は、数十人ほどで集落をつくり、_____で3～6人の家族が暮らしていた。
- 水辺や海岸には、貝がらなどの食べ物の残りかすを捨てた_____ができた。
- クリ・クルミなどの_____は秋に行われ、イノシシなどの狩りは、_____に行われた。
- 人々は豊かなめぐみをいのるために、女性などをかたどった_____を作った。

2. 三内丸山遺跡

- _____で発見された三内丸山遺跡は、約5500～4000年前の縄文時代の大集落あとである。
- 北海道や長野県の_____、新潟県で産出された_____が三内丸山遺跡で発掘されたことで、縄文時代には広い範囲で交易が行なわれていたことがわかる。
- 三内丸山遺跡の人々は、狩り・採集・漁以外にも、クリなどの植物を_____した。
- 建物は、_____、_____の_____、大型たて穴住居など。